

4 国 語

松蔭大学附属 松蔭高等学校

令和四年度 松蔭大学附属 松蔭高等学校 入学試験問題

国 語

○ 注 意

- 1 問題は①から④までで20ページにわたって印刷してあります。
- 2 指示があるまで中を見てはいけません。
- 3 査察時間は五〇分です。
- 4 解答はすべて解答用紙に明確に記入し、解答用紙と問題用紙は別々に提出しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから新しい解答を書きなさい。
- 6 査察番号(算用数字)、氏名を、解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「エッセンシャルワーカー」という言葉を初めて聞いたとき、すごく良い言葉だと思いました。ご存じの方も多いと思いますが、エッセンシャルワーカーとは、医療関係者をはじめ、トラックの運転手、ゴミ収集係、警備員、スーパーのレジ係など、コロナ禍において身の危険を感じながらも現場で働き続けている方々を指します。エッセンシャルとは、英語で「**A**」という意味。まさに、社会が正常に回り続けるために**A**仕事についているわけです。この「エッセンシャルワーカー」という言葉は、新型コロナウイルスの存在していた言葉かもしれません。しかし、コロナ禍において各国の大統領や首相たちがスピーチの^aボウトウでエッセンシャルワーカーたちに敬意を述べたり、メディアが使ったりすることによって、一気に広まった言葉だと考えられます。

少し前までは、医療関係者は別にしても、トラックの運転手、ゴミ収集係、警備員などは、肉体的な労働をおこなう、いわゆる「ブルーカラー」と呼ばれる職業に含まれていました。これは、オフィスで働く「ホワイトカラー」との区別で使われることが多く、そこに特別な^①リスペクトがあったとは思えません。しかし、この「エッセンシャルワーカー」という言葉が使われるようになり、全く同じ仕事をしているにもかかわらず、人々が感謝し、リスペクトするようになった^b。フニキが生まれたのではないでしようか。「ブルーカラー」から「エッセンシャルワーカー」へ。たった十文字程度ですが、多くの人々の意識を変える力を持っているのが「言葉」なのです。

言葉の方が面白いのは、一度定着した言葉やそこから生まれるイメージは、元には戻りにくいということです。今後、新型コロナウイルスがある程度収まったとしても、この「エッセンシャルワーカー」という言葉が残る限り、社会的に必要な仕事をしてきている人々に敬意の念を忘れないようにしようと思う考えは、人々の

頭の中に残るでしょう。「エッセンシャルワーカー」という言葉がなかった時代に戻るのが難しい、そんな「不可逆性」を持つのも、言葉を持つ強さです。このような、不可逆性を持つ影響力の大きな言葉のことは、「時代のページをめくる言葉」と表現されることがあります。

これは、私が若い頃に、ある大先輩コピーライターから聞いた話です。引退間近のその先輩に、こんな質問をしました。

「これまでで、一番思い出に残っている仕事ってなんですか？」

私は、先輩が日本を代表する大きな企業の広告から、誰もが知っている芸能人を、キョウ^{キョウ}した広告まで、様々な仕事をしてきたことを知っていました。ですから、そのような話が出てくるのかなと思っていたのです。ところが、先輩の答えは意外なものでした。

「そうだな、『熟年』っていう言葉を広めたことかな」

その先輩が語ってくれたのは、大企業の仕事でもなく、有名人の広告でもない、ある小さな仕事の中で、その商品のターゲット層であるシニア世代に対して「熟年」という言葉を使った時の話でした。

当時、いわゆるシニア世代を指す言葉は「老年」や「老人」しかなく、(2) なイメージはなかったそうです。しかし、人生を重ねたからこそ出せる味のある、魅力的な年代だという前向きなイメージに変えたかったその先輩が広告で使った言葉が「熟年」でした。たしかに、「老年」と言われるよりも「熟年」と言われたほうが、周りからの見え方も、そう呼ばれた本人たちもうれしい気持ちになりそうです。もちろん、先輩その広告だけがきっかけではないとは思いますが、そこから「熟年」という言葉が世の中に^dフキユウして、現在に至ります。今でこそ、六十歳、七十歳になっても元気な人がたくさんいらっしゃって、まさに「円熟した大人の世代」というイメージが定着しています。また、「熟年離婚」や「熟年結婚」などにも使われる普遍的な言葉になっています。熟年という言葉がない時代には戻れないという意味で、時代のページを

めくった言葉だと言うことができそうです。そして、その先輩にとっては何よりも忘れがたい仕事だったというわけです。

最後にもう一つ、最近新しく生まれた言葉について分析していきたいと思います。それは、様々なプロスポーツのリーグが加盟する日本トップリーグ連携機構が定めた、「リモートマッチ」という言葉です。この言葉のユニークな点は、日本トップリーグ連携機構が国民全員、とりわけスポーツファンに「無観客試合」に変わる言葉を考えよう」と呼びかけて、ツイッター上でアイデアを募ったところ、もともと「無観客試合」は、クラブが問題を起こした際に懲罰的な意味合いで行われるもので、(3) なイメージがありました。そこで、より(4) な言葉を考えようと募集したところ、わずか一週間の間に約九二〇〇件の応募があったそうです。そして、最終的に決まった言葉が「リモートマッチ」です。では、他にはどんな候補があったのでしょうか。最終候補に残った言葉は、例えば以下のようなものでした。

- リモートマッチ
- 絆マッチ
- Social Distance Games (SDGs)
- 無限観客試合(∞観客試合)

この中から、最終的にはリモートマッチが選ばれたわけですが、みなさんだったらどのようを選びますか？好き嫌いですか？それとも、言葉の響きでしょうか？

私は、言葉の見た目だけでなく、それぞれの言葉が持つ特徴や狙いについて客観的に分析した上で、好み

や響きなど主観的な面と統合して考えるのがよいと考えます。

そこで今回は、アイデアを分析する二つの視点、「着眼点」と「切り口」を使って、これらの言葉を分析してみたいと思います。

最終候補に残った言葉たちは、アイデアの切り口にあたります。では、それぞれの言葉の着眼点とは何だったのでしょうか。私なりに分析すると、実は「リモートマッチ」と「絆マッチ」という切り口は、比較的近い着眼点から生まれていると思います。それは、(5)に着目した点です。一方で、Social Distance Games (SDGs) という言葉の着眼点は、それとは少し異なります。SDGsといえば、多くの方が二〇一五年の国連サミットで採択されたカラフルなロゴの「B 開発目標」を思い浮かべるのではないのでしょうか。この言葉には、「距離を保って試合をすることが感染拡大防止に貢献している」という、社会貢献的な側面があると考えられます。また、無限観客試合(∞観客試合)は、もともとの「無観客試合」に一文字足すことによつて、観客が無限に増える、スポーツファンも無限に広がる可能性があるという、新しい可能性に着眼点を置いた言葉だと言えます。

いずれの言葉も選ばれる可能性はあったと思いますが、今回はおそらく、着眼点としては選手とファンのつながりを重視したものが選ばれ、切り口としては「リモマ」のように略しても使いやすいものが選ばれたのではないかと思います。

このように、言葉のアイデアを着眼点と切り口で整理することで、どのように選ばれたのか、そのプロセスが理解できるような気がします。

(「プロが教えるアイデア練習帳」岡田 庄生)

問1 〓 線 a ~ d のカタカナを正しい漢字で書きなさい。

問2 〓 線①「リスペクト」の意味を本文中から抜き出しなさい。

問3 空欄 A B に入る語を次の中から選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|----------|----------|---------|
| ア 唯一無二の | イ 過不足の無い | ウ 持続可能な |
| エ 必要最低限の | オ 必要不可欠な | |

問4 空欄 (2) (3) (4) に「ポジティブ」か「ネガティブ」のどちらかを入れなさい。

問5 空欄 (5) にはどのような着眼点が入るか、二十字以上三十字以内で書きなさい。

問6 本文の内容と合っているものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「リモートマッチ」が「リモマ」と略されて親しまれるように、言葉は使いやすさを最重視するべきだ。

イ 言葉は常に進化し続けるもので、新しく生まれた言葉を問題視することは無意味である。

ウ 「エッセンシャルワーカー」という言葉は人々の意識を変えた、まさに時代のページをめくった言葉と言える。

エ 「熟年」という言葉ができたことで、シニア世代の人々が生き生きと活躍できる社会が形成された。

オ シニア世代は日本の経済成長を支えてきた世代なので、若者は敬意を払うべきである。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

スーツ姿の山本は、現役時代の筋肉質な体つきから変わって、ずいぶんぼつちやりとしたように見えた。

ふう、と息をつきながら、カウンターの椅子に座る。幸代が水を出してやると、すみません、と言いながら、

一息で飲み干した。

「で、なんだい、食ってくのかい」

「いや、さすがに、ここの飯はもう食いきれないですよ」

僕もアラフォーなんで、と、山本は頭をかいた。

「最近はどうもこいつもダメだな。小食ばかりだよ」

「そうっすねえ。うちのがキも飯を全然食わねえんすよね」

「今、いくつだ」

「上の子が、今度中学に上がります」

「育ち盛りじゃねえか。もつと食わせてやれよ」

「それがね、一丁前に、ダイエットとかぬかすんですよ」

夫は、クソガキのくせに、と、大笑いをした。

「ところで、飯屋に来て飯も食わねえつつうなら、^①なんの用だ」

「いやね、近くまで来たもんで、せつかくだからと思ってます」

——先輩に、会いに。

山本の言葉に、夫は、ああそうかい、と、うなずくだけだった。

——おい、バカ野郎、まだ昼だぞ、寝るバカがいるか！

——お父さん、ね、もう、やめてください！

うるせえ黙ってろ！ という夫の声、真つ白な病室に響く。

——昼だぞ、昼だ、飯の時間だぞ、おい！

——お父さん！

ベッドの上では、真つ白な顔をした息子が目を閉じようとしていた。体に差し込まれた管が痛々しい。手足は枯れ枝のように細く、頬は肉がなくなつて、まるで骸骨に皮を貼りつけただけのようだった。

息子の口から、到底声とは言えない、ああ、というかすれた音が漏れた。夫はベッドに顔をねじこむようにして、息子に顔を寄せた。暴れる夫を止めようとしていた幸代も思わず手を止めた。

——おい、なんだ、どうした！

息子はゆっくりと視線を夫に移し、か細い息を吐いた。

——はら、へった、よ。

動かない唇を懸命に動かして声にならない声を残し、そのまま息子は動かなくなった。幸代が泣き崩れる中、夫はいつまでも、なにが食いたいんだ！ 作ってやるから言え！ と叫んでいた。

「ありやあ、忘れらんねえよな」

長雨の季節が過ぎて、空は高く、きれいに澄んでいた。吹き抜けていく風は、もう肌を刺すほど冷たい。もうじき、風に乗って細かい雪が舞う季節だ。陰気なグレーの雲に押しつぶされそうな、長い冬がやってくる。

食堂から数分のところにある小さな寺の墓地には、人の姿はなかった。年老いた住職の母親が表で落ち葉を掃く音だけが聞こえてくる。

「佐藤家之墓」と彫られた墓石は、夫の祖父母の代に建てられたもので、十五年前に亡くなった幸代の息子もここに眠っている。嫁に来た以上、幸代もいずれはここに入ると思っていたが、まさか先に自分の手で息子の骨壺を納めることになるとは思ってもみなかった。

息子は、小学校の頃から食欲旺盛な子だった。家が食堂だったせいもあったかもしれないが、とにかくごはんをよく食べた。あまりにも成長しすぎて、中学に上がる頃には、背丈も体重も夫を抜いてしまったほどだ。

中学で柔道をやり始めてから、その食欲はさらに膨れ上がった。一日五食、毎日一升は米を平げた。夫が大盛りメニューだらけの『マンブク食堂』を作ったのは、息子の食欲も一つの要因であったかもしれない。

息子は大飯を食らって家計を圧迫する分、柔道には、^aシンケンに打ち込んだ。メキメキと実力をつけ、^bキボの大きな大会でも優勝するようになった。お陰で、近所の私立校に学費免除のスポーツ特待生として入学することができた。学費免除でなかったら、経済的に私立校には行かせてやれなかっただろう。幸代に

とって、息子は、ホコリだった。

「あんなにバカみてえに飯ばっかり食ってたガキがよ、一口も飯が食えなくなっちゃうんだからな。神様はひでえことしやがるよな」

高校三年、最後の大会を前にして、息子は手に力が入らない、と訴えるようになった。柔道では、技をかけるために相手の胴着を掴まなければならぬ。握力がすべてというわけではないが、手に力が入らないのは由々しき問題だった。練習の疲れか疲労骨折か、と思っていたが、念のためと思って検査に行った大学病院で、幸代は医師から驚くべき病名を告げられた。

——筋萎縮性側索硬化症。

初めて聞いたとき、幸代にはなんのことかさっぱりわからなかった。聞けば、全身の筋肉がマヒし、萎縮してしまふ病気だという。

病気がわかってからたった一年の間に、症状はどんどん悪化した。はじめは手が使えなくなり、次に足の筋肉が萎縮して立つことができなくなった。やがて、食べ物を飲み込むための機能も低下して口から食事をするこたさえできなくなり、大柄で逞しかった体は、見る間に痩せ細っていった。

ALSが残酷なのは、体が動かなくなり、声すら出すことができなくなっていくのに、脳はまったく衰えないということだ。息子は、頭は育ち盛りの少年のまま、体が寝たきりの老人のようになっていった。

——はらへった。

筋肉が弱つていよいよ声が出なくなると、意思の疎通はメッセージボードを使うしかなくなる。幸代が持

つ透明なボードに書かれたひらがなを、息子が目だけで一字一字追って意思を伝えてくるのだ。たった一言交わすにも大変な思いをするというのに、^③息子の一言目は、いつも決まって「はらへった」だった。

息子は結局、寝たきりのまま四年半生きたが、最期は合併症を起こして力尽きた。

「もう、喉が動かねえんだから、飯なんか食えっこねえんだ。でも、あいつはよ、毎日毎日、腹減った、腹減ったばかりでな」

「俺、一度、お見舞いに行ったんですけど。先輩が痩せててショックだったのを覚えてますよ。今でも思い出します」

あの、誰よりもデカくて強かった佐藤先輩が。と、山本は声を詰まらせた。

「食い意地ばかり張りやがってな。バカ野郎が」

山本が唇を震わせながら、そうなんですよ、とうなずいた。

「先輩、練習中もずっと飯のことばかり考えてるんですよ。あともう少し汗かいたら、あともう少し練習したら、この後の飯がもっとウマくなるんだ、とか」

「そりゃ、あいつらしいや、な」

「いつも、おじさんの飯が、世界一ウマいんだって言ってたんですよ。おじさんの飯を腹いっぱい食べたいから、力を出し尽くすまで一生懸命練習するんだって」

線香を供えると、墓石を見つめる夫の目が見る間に真っ赤になっていった。唇を結び、喉をついて出そうになるため息を、必死に鼻から抜いてごまかそうとしている。幸代は堪えきれなくなって、思わずハンカチで両目を押さえた。

「食堂のオヤジが、腹減ったって言うせがれに、なんにも食わしてやれなかったんだ」

こんなに情けねえことはねえよな、と、夫は血を吐くように一言絞り出すと、しばらく口を閉ざしたままだった。

そろそろ戻ろう、という夫の言葉をきっかけに、幸代たちは寺を後にした。車道脇の緩いカーブが続く歩道を、三人一列になって歩く。腰の高さのフェンスの向こうには、緑地公園のどかな風景が広がっている。さらにその向こう、高台の上に、息子や山本が通っていた高校の校舎が見えた。

先頭を歩いていた夫が急に足を止め、幸代が軽く背中につかかった。なに、と顔を上げる。立ち止まった夫は、ゆっくり振り向くと、大きく息を^dスって吐いて、を、何度か繰り返した。

「潮時ってやつかもな」

「潮時？」

「閉めちまおうか、店を」

え、と、幸代と山本が同時に声を上げた。

「閉めるって、やめちゃうってことですか、おじさん」

「もうなあ、今日び、腹パンパンにして幸せ、なんて、みんな思わねえんだろうな。客もすいぶん減ったしよ」

時代の流れてやつよ！と、夫は変に明るく、声を張った。

「お父さん、でも——」

「なんかな、あいつに飯食わしてやれなかったのが悔しくて、俺あ、意地になってここまでやってきたんだわ。でも、それがあいつの供養になるわけじゃねえもんな」

(『本日のメニューは。』行成 薫)

問1 〓線a～dのカタカナを正しい漢字で書きなさい。

問2 〓線①「なんの用」とあるが、山本はどんな目的で訪れたのか。七字以内で書きなさい。

問3 〓線②『『マンブク食堂』を作ったのは、息子の食欲も一つの要因であるかもしれない。』とあるが、現在まで「マンブク食堂」を続けている要因は何か。

問4 〓線③「息子の一言目は、いつもきまって『はらへった』だった。」とあるが、その原因となるこの病気の症状はどのようなことか。

問5 この文章を場面ごとのまとまりに分けるとすると、いくつに分けられるか、数字で答えなさい。

問6 次の①～④について、この小説の特徴としてあてはまるものには○、あてはまらないものには×を書きなさい。

- ① 息子と友人を対比することによって短命だった息子の無念を表現している。
- ② 大切なセリフにかっこを付けずに表現することによって印象づけている。
- ③ 現在と過去を交互に並べることによって回想場面を無理なく読者に想像させている。
- ④ 夫の乱暴な言葉遣いや気性の荒さを描くことによって妻の優しい性格を際立たせている。

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

I 「話しかける相手」とII 「話の中身」とを区別すること

敬語には「話しかける相手」に対する敬語と、「話の中身」に対する敬語とがあります。

I 会話ならば「話しかける相手」、手紙や文章ならば、「書き手が心に描いている読み手」がいます。日本語には、その「話しかける相手」に対する敬語があります。例えば次のように。

本があるー本があります

これが花だーこれが花です

これは、「本があること」「花であること」に敬意を表したのではなく、話しかける相手、読む相手に対して敬意を表したのです。

II 実際に話したり、書いたりする「話の中身」があります。これについての敬語は、Iとは別の体系をもっています。ふつう敬語というと、尊敬語と謙譲語ばかりが取り扱われていますが、実際には尊敬・謙譲と逆の侮蔑語や尊大語という表現も並んで存在します。それを考えに入れて見ていきましょう。IIは、A

Bの二つに分かれます。

A 登場する二人称・三人称の扱い

(1) その人物をどう扱うか

「人物(二人称・三人称)」は、「アナタ・オマエ」とか「キサマ・テメエ」、「カレ・アノ方・アイツ・

ヤツ」とか、「佐藤・佐藤さん・佐藤のやつ」のように、親疎・遠近による区別をします。

(2) その人がする動作をどう扱うか
「動作」には次の二つがあります。

a 佐藤さんが住んでいる→佐藤さんが住んでいらつしやる(相手を高く扱う)

b 佐藤が住んでいる→佐藤のやつが住んでいやがる(相手を侮蔑する)

B 自分や自分の側の扱い

(1) 「人物」は、「テーマドモ・ワタクシタチ・我輩」など、低くする形や尊大な形があります。

(2) 「動作」には、次の二つがあります。

c 田中に教えた→田中さんにお教えした(自分を低く扱う)

d 田中に教えた→田中に教えてやった(自分を高く扱う)

c を謙譲語といい、d は尊大表現とでもいうべきでしょう。

II の A (1) について気をつけるべきは、「話しかける相手」と「二人称の代名詞」とは別だ、ということですが、自分より高い人、低い人、遠い人、近い人と、扱い方はいろいろあっても「話しかける相手」としては一つです。この「相手」に対する敬意は、I でみたように、マスとかデスとかの部分で表されます。いっぽう、「二人称」とはその相手を「話の中身」に登場させるときの形で、「アナタサマ・アナタ・アンタ・オマエ」など、いろいろ区別できます。

I 「話しかける相手」とII 「話の中身」とは別ですから、

警察の野郎が来やりましたぜ

といえます。アは、「話の中身」のイには侮蔑的な扱いの表現として「来やがる」といい、「話しかける相手」としてのウにはマシタと尊敬の意を表したのです。

例をもう一つ。

父と娘が話している場面です。

お医者様がお見えになりました

この場合は、話し手は「話しかける相手」に敬意を表しています。とともに、話の中身の「医者」に対しても敬意を表しています。「お医者様」といい、その動作を「エ」と表現して高く扱っています。これはオからカにいう言葉と分かります。それに対して、

お医者様がお見えになったよ

といえば、話の中身の「医者」には敬意を表していますが、マスがないから「話しかける相手」には敬意を表していない。これだとキがクに医者の到着を知らせている発言だということになるでしょう。

つまり敬語には、I 「話しかける相手」についての敬語、II 「話の中身」についての敬語、という区別があること。これが日本語の敬語の構造の根本です。

問1 [ア] [ウ]には設定できる人物として、次の①～③のどれがあてはまるか。記号で答えなさい。

- ① 警察
- ② 泥棒の子分
- ③ 親分

問2 [エ]にあてはまる言葉を答えなさい。

問3 [オ] [ク]に「父親」か「娘」のどちらかを入れ、文を完成させなさい。

問4 「私」は「弟」と「先生」との三人で会話をしています。次の①～③の私の発言は、「私」が「弟」「先生」のどちらに向かってしたものであるか答えなさい。

- ① 誰の字か調べたか
- ② 誰の字か調べましたか
- ③ 誰の字かお調べになりましたか

4 次の各問いに答えなさい。

問1 次の①～④の「線部を、可能動詞に直しなさい。

- ① 友だちがいるから頑張ることができる。
- ② いつか空も飛ぶことができるはずだ。
- ③ 自分の意見をしっかりと言うことができる。
- ④ このバスには四十人乗ることができる。

問2 次の①～⑥の「線部のカタカナを漢字に直すとき、〔 〕の「ア」エのどれが正しいか。それぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|---------------------------|------|-----|-----|-----|
| ① 新案が <u>閣下</u> で決定された。 | 〔ア 儀 | イ 義 | ウ 疑 | エ 議 |
| ② 友人を誕生日に <u>シヨウ</u> 待する。 | 〔ア 証 | イ 照 | ウ 紹 | エ 招 |

- | | | | | | |
|---|-----------------|------|-----|-----|------|
| ③ | 互いの功セキをただえ合う。 | 〔ア 責 | イ 蹟 | ウ 跡 | エ 績〕 |
| ④ | お小遣いをケン約して貯金する。 | 〔ア 檢 | イ 儉 | ウ 兼 | エ 險〕 |
| ⑤ | 話し合いのあとで決を下る。 | 〔ア 執 | イ 取 | ウ 採 | エ 捕〕 |
| ⑥ | 早めに帰路にづく。 | 〔ア 突 | イ 付 | ウ 就 | エ 着〕 |

考查番号
氏名
得点

1				
問 6	問 5	問 3	問 2	問 1
		A		a
		B		
		問 4		b
		②		
				c
		③		
				d
		④		

2				
問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
				a
問 6				b
①				
				c
②				d
③				
④				

3			
問 4	問 3	問 2	問 1
①	オ		ア
			イ
②	カ		
			ウ
③	キ		
	ク		

4	
問 2	問 1
①	①
②	
③	②
④	
⑤	③
⑥	
	④